

2017 全日本 F3 第 6 戦 第 7 戦
 富士スピードウェイ
 2017 年 5 月 13 日

予選

観客: 未発表 天候: 雨

2017 年全日本 F3 選手権シリーズ第 6 戦、第 7 戦は、富士スピードウェイに舞台を移して行われた。予選日の天候は予報通りの雨、コースコンディションはウエットとなった。金曜日の練習走行では、ドライコンディションの状況で坪井 翔、宮田莉朋ともに僅差で上位のポジションを維持。ウエットコンディションへ変化し、これによってエンジン性能差がほぼ無くなる条件となったのでポールポジション獲得の可能性を信じてコースイン。今回の予選方式は各々10 分間で行われた。結果として坪井が両レースをセカンドポジション、フロントローからスタートすることになり、宮田は、第 6 戦を 7 番手、第 7 戦を 3 番手からスタートする。



- ウエットコンディションとなり当然ラップタイムが落ちるので、10 分間の予選セッション内でだいたい 5 周できる計算となって、その中でタイムを出すことが必要だった。
- 坪井 翔は、果敢にポールポジションを目指して雨の中でアタックした。タイヤの温まりを待つ以前にマシンをコントロールしてタイムを出し、まずは第 6 戦の 2 番手ポジションを確保。10 分のインターバルの間にウイングのセッティングを調整してダウンフォースを若干増やして臨み、トップタイムのマシンに迫ったが逆転ならず第 7 戦も 2 番手、フロントローを得た。
- 宮田莉朋にとって初めての 10 分間予選。それもウエットコンディションでの富士スピードウェイの走行経験が少なかったことが影響した。第 6 戦予選では、アタックのタイミングを見計らっている間にセッションが終わってしまい 7 番手となった。ウイングのセッティングを変えてダウンフォースを増して臨んだ第 7 戦予選では早めにアタックを開始して 3 番手グリッドを得た。

Drivers	Car No.	Qualifying for 6	Qualifying for 7
坪井 翔	1	P2 1:52.406	P2 1:52.192
宮田 莉朋	36	P7 1:54.069	P3 1:52.954

天候	雨/ウエット	
気温/路面温度	気温 14-13 度 C	路面: 17-17 度 C

坪井 翔 (1 号車ドライバー)



「雨ならこっちに流れは来るかなと思っていたのですが、パロウ選手は、速かった。両レースでフロントロー2 番手の位置からスタートできるのですが、かなりタイム差を着けられたのは悔しかったですね。それでもインターバルでウイングの角度を少し増してもらって第 7 戦の予選でパロウ選手との差を詰められたので、決勝ではまたセッティングを少し変えて勝負したいです」

宮田 莉朋 (36 号車ドライバー)



「10 分間という短い予選セッションにちょっと戸惑ってしまいました。そして、雨の富士は、殆ど走ったことがなくて、これも少なからず影響しました。その後、雨の量も多くなっていたので、ダウンフォースを増やして、早めにアタックして何とか 3 番手のタイムを出せましたけれど、ポールポジションタイムからは 1 秒離されてしまいました。最初の決勝、第 6 戦は、中段からのスタートなので視界も悪いでしょうから、接触到注意してできるだけ順位をアップして終えたいと思っています」

山田 淳 (チーフエンジニア)



「二つのイベントを終えて、苦しい展開だったので、今回はいろいろハード面で改良を加えて富士に乗り込んで来ました。ドライの練習走行ではかなり良い感触を得ました。そして迎えた予選はウエットコンディション。エンジンの性能差が帳消しになるこのコンディションでトップタイムを取れる期待があったのですが、パロウ選手がその速さを爆発させて大差をつけられてしまいました。インターバルで空力のセットを少し変えて坪井(翔)が何とかタイムを詰めたのですがまだ逆転には至りませんでした。宮田(莉朋)も何とか 3 番手に上がって来ているので、決勝では再び状況に合わせたセッティングをして攻めます」

関谷正徳



「雨の状況は刻々と変化するのでとても難しい。その意味では最初のセッションが今日の走り始めだったのでそこでセッティングがどうかをチェック、その後変更して 2 回目のセッションへ臨むという流れでした。タイム差はあるが坪井(翔)が頑張った。そして宮田(莉朋)もアジャストしてきているので、二人のドライバーに決勝では頑張ってもらおう」

2017 全日本 F3 第 6 戦 第 7 戦
 鈴鹿サーキット
 2017 年 5 月 13-14 日

決勝

観客: 未発表 天候: 雨/曇り

富士スピードウェイで開催された全日本 F3 選手権シリーズ第 6 戦、第 7 戦は、土曜日に行われた第 6 戦がウエット、第 7 戦がドライコンディションとなった。坪井 翔は、7 位、2 位。宮田 莉朋は、5 位、3 位の結果を残した。



- 第 6 戦のスタートでやや出遅れてしまった坪井 翔は、3 位まで順位を落としてしまうが、オープニングラップの第 3 セクター入り口、ダンロップコーナーで 2 位のポジションへアップした。
- 15 周レースの中盤からトップとの差を徐々に詰めて最大 4 秒以上あった差を最小 0.5 秒差まで詰めた。7 周目にはレース中のファステストラップタイムを記録している。最終ラップになお差を詰めようとして 1 コーナーのブレーキングを遅らせた際に接触、トップの車両を押し出す形になってしまった。接触で左フロントウイングの翼端板とサスペンションを破損、3 位でゴールしたが、レース後、接触のペナルティとして暫定結果に 30 秒加算されて 7 位となった。
- 第 7 戦のスタート直後の 1 コーナーで行き場を失った坪井(翔)は 4 位へ後退。しかし、落ち着いて前車をパスして行き、再びファステストラップを記録、2 位へ順位アップしてゴール。今季 2 度目の 2 位獲得となった。
- 宮田 莉朋は、経験の少ないウエットコンディションの第 6 戦で序盤はスタート順位をキープして周回を重ねた。一時ひとつ順位を下げてしまうが、元の順位に戻してゴール。その後、坪井(翔)のペナルティと他車の車両違反があって 5 位となった。
- 第 7 戦の宮田(莉朋)は、スタートで順位をキープするものの、チームメイトの坪井(翔)に 4 周目にパスされて 4 位へ 21 周レースの 11 周目に 3 位に挽回してゴール。今季 4 回目の 3 位フィニッシュを果たした。

Drivers	Car No.	Round 6/ Fastest Lap	Round 7/ Fastest Lap
坪井 翔	1	P7 1:50.138	P2 1:34.831
宮田 莉朋	37	P5 1:51.100	P3 1:34.858

天候	雨/ウエット 曇りドライ	
気温/路面温度	気温: 15-15/24-22 度C	路面: 16-18/37-31度C



坪井 翔 (1 号車ドライバー)

「今回の富士では、金曜日の練習走行、ドライでトップではなかったですが、勝負できる状況までタイムを伸ばせましたし、ウエットでは勝てると思っていたのですが第 6 戦は自分のミスで台無しにしてしまいました。しかし、第 7 戦では 1 コーナーで行き場が無くなって接触を避けて順位を下げたのですが、もし前に出られていたら勝てるチャンスはあったかも知れません。でも両レースでファステストを取れて、速さを示す事ができました。今後は速さを勝ちに繋げて行きたいとおもいます」

宮田 莉朋 (37 号車ドライバー)

「やはり、ウエットコンディションでは中段からのスタートだと視界も悪かったし、思い通りのラインも走れなくて、大変でした。自分にとっては難しいレースでしたが良い経験になりました。ドライの第 7 戦では 1 コーナーの接戦も上手く抜けられて順位をキープできたのですが直ぐにチームメイトにパスされてしまって順位を落とす結果となりました。その後、ペースが落ちてきたパロウ選手をパスしようと迫ったのですが、直ぐに抜くことができず、数周かかったのですが、直ぐに抜けるようなテクニックを磨くことと、タイヤのマネージメントも今後の課題となりました」

山田 淳 (チーフエンジニア)

「鈴鹿のイベント以降、富士に向けてマシンのセットアップを見直して、ハードウエアでの劣勢をできるだけ少なくしてきたつもりです。その結果、金曜日の練習走行のドライではかなり良い感触をもって二人のドライバーが走っていました。そして予選と第 6 戦は雨のウエットコンディションとなり、こちらに分があるかなと思ったのですがパロウ選手は別格の速さがありましたね。それでも坪井(翔)が迫ったのですが、最後は自らミスを犯してしまいましたね。宮田(莉朋)に関しては、まだ経験が足りない状況ですね。坪井(翔)と同じパッケージですから、同じ速さを示していただかないなりません。ドライの第 7 戦は、各々頑張ったと思いますが、勝てなかったのには理由がある。終盤にタイムが落ちないタイヤの使い方などをもっと学ぶ必要があるですね。敢えて厳しいコメントをさせていただきます」

関谷正徳

「今回も勝利を得ることはできませんでしたが、チームは勿論、二人のドライバーの頑張っている姿を見ることができました。坪井(翔)は、勝利に手が届くところまで来ているのに何故勝てないのかをもう一度考えて欲しい。そして宮田(莉朋)はもっと経験を積んで勝てるようになって欲しい。まだ求めることは多いのですが、今後に期待が持てる富士でのレースでした」

